

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	国際ティビィシィ小山看護専門学校
設置者名	学校法人ティビィシィ学院 理事長 齋藤武士

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
医療専門課程	看護学科	夜・通信	74単位	9単位	
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

当校ホームページ https://www.kango-oyama.jp/information
--

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	国際ティビィシィ小山看護専門学校
設置者名	学校法人ティビィシィ学院 理事長 齋藤 武士

1. 理事（役員）名簿の公表方法

http://www.tbc-gakuin.jp/common/pdf/2023/01.pdf

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	会社役員	令和3年5月29日～令和6年5月28日	教職員の勤怠管理
非常勤	会社代表取締役	令和3年5月29日～令和6年5月28日	校外学習の企画・運営
(備考)			

様式第 2 号の 3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	国際ティビィシィ小山看護専門学校
設置者名	学校法人ティビィシィ学院 理事長 齋藤武士

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。	
(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)	
<ul style="list-style-type: none"> ・授業計画(シラバス)は、看護師国家試験受験資格を得るための認可カリキュラムに従い、在学生が3年間で必要な知識・技術を身につけられるよう、段階的な修得を積み重ねられるよう、教務部全体の共通認識を踏まえ、カリキュラム編成担当の教務部長が作成し、年度当初に学生に提示できるようにしている。 ・授業計画の作成・公表時期は、新年度の開始に合わせて行われ、従来は「学生要覧」という小冊子と別表資料の配付により行ってきた。また、「学生要覧」に掲載されているものと同じ内容を当校ホームページでも閲覧できるようにする。 	
授業計画書の公表方法	https://www.kango-oyama.jp/information
2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。	
(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)	
<ul style="list-style-type: none"> ・学則第 20, 21, 22, 30 の各条に定める授業科目、単位数、単位の認定、成績評価に関する定めに基づき、「学生要覧」に「単位認定に関する規定」としてまとめた内容を年度当初に学生全員に示し、授業科目ごとに単位認定試験を実施。 ・認定試験は、各授業科目について、出席時間が3分の2以上に達した学生に対し、記述、口述、実技など担当教員又は講師が適当と認める方法で行う。 ・成績評価は100点満点法により、A(80点以上)・B(70点以上80点未満)・C(60点以上70点未満)およびD(60点未満)に分け、AからCまでを合格とし、Dを不合格とする。 ・単位認定は、当該科目及び単元に関する時間の3分の2以上出席し、認定試験に合格した者に、教員会議の議を経て校長が行う。 	

<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p> <p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・厚生労働省により認可された看護師国家試験受験資格を得るためのカリキュラムによって編成され実務経験者によって行われる各授業について、100点満点法で知識・技術の習熟を測定し、教員による成績認定会議を経て校長が単位修得認定を行っており、成績評価の客観性・公平性は担保されている。 ・この仕組みは、例年「学生要覧」としてまとめられ全学生に示されると共に、年度当初に開催する保護者会でも説明がなされ、ステークホルダーに対しての公表は適切に行われている。 ・一年度間を前後期の2期に分け、成績認定会議を経た後に、全学生の単位修得状況を一覧化。A・B・C・Dの各成績を数値化し、合計ポイントを取得単位数で除してGPAを算出し序列化することで、「成績の分布状況の把握」が可能となっている。 	
<p>客観的な指標の算出方法の公表方法</p>	<p>https://www.kango-oyama.jp/information</p>
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p> <p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>卒業認定の要件は、カリキュラムで指定の全授業単位の取得であり、これを達成することで以下のような人材となり、国家試験合格を経て看護師免許を手にし、晴れて看護師として社会人生活を開始することが可能となる。</p> <p>称号「医療専門士」授与の方針（ディプロマポリシー）</p> <ol style="list-style-type: none"> ①看護の基礎となる豊かな人間性や倫理観と教養を身につけている。 ②看護職として専門分野における知識・技術を修得している。 ③人間の身体的・精神的・社会的な健康を科学的に評価し、的確な判断ができる。 ④人間の健康増進維持、予防、また健康障害からの回復過程等、あらゆる健康段階を連続的に捉え、生活に根ざした支援の必要性を理解できる。 ⑤リーダーシップを身につけ、自ら他職種と連携・協働することができる。 ⑥国際化及び社会に医療ニーズの変化に対応し、生涯を通して自己を高めることができる。 	
<p>卒業の認定に関する方針の公表方法</p>	<p>当校パンフレットに掲載・希望者に配付（無料）。 当校ホームページ https://www.kango-oyama.jp/course に掲載</p>

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	国際ティビィシィ小山看護専門学校
設置者名	学校法人ティビィシィ学院 理事長 齋藤武士

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	http://www.tbc-gakuin.jp/common/pdf/2023/02.pdf
収支計算書又は損益計算書	
財産目録	
事業報告書	
監事による監査報告（書）	

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療分野		医療専門課程	看護学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼	98単位	78単位	2単位	23単位	0単位	0単位
103単位時間/単位							
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
240人		201人	0人	15人	55人	70人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 授業方法：講義、演習、実習による 授業内容・計画：厚生労働省認可カリキュラムを元に、年度当初に示すシラバスのとおり進行。
成績評価の基準・方法
（概要）当該科目の出席時間の3分の2以上に達し、100点満点法により60点以上を合格とする。試験方法は筆記試験、演習実技テストによる。合格点により、80点以上をA、70点以上80点未満をB、60点以上70点未満をC評価とする。
卒業・進級の認定基準
（概要）卒業基準：全単位の取得、全授業科目の授業時間3分の2以上時間の出席を満たす者に対して、教員会議の議を経て校長が認定する。 進級基準：当該学年の全授業科目の出席時間の3分の2以上に達し、試験又は評価に合格した者に対して、教員会議の議を経て校長が認定する。
学修支援等
（概要）・基礎学力向上のための特別講義（化学・看護に必要な数学等） ・国家試験対策指導、チューター制度による指導 ・長期休暇中の国家試験対策講座 ・看護技術室の開放、補修の実施 など

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
42人 (100%)	0人 (0%)	42人 (100%)	0人 (0%)
（主な就職、業界等） 就職者のほとんどが、看護師（准看護師2名含む）として病院（医療業界）に就職しています。			
（就職指導内容） 就職先の情報収集、自己分析指導、面接準備などを複数の教職員で指導しています。			
（主な学修成果（資格・検定等））第112回看護師国家試験合格状況：受験者42名、合格者39名			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
200人	17人	8.5%
（中途退学の主な理由） 進路変更、体調不良、経済事情 等		
（中退防止・中退者支援のための取組） スクールカウンセラーによるカウンセリング、奨学金の斡旋・学費分納対応 等		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
看護学科	¥200,000 円	¥600,000 円	¥200,000 円	その他は「施設設備費」
	円	円	円	
	円	円	円	
	円	円	円	
修学支援 (任意記載事項)				
学生支援機構利用者の学費分納				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 自己点検自己評価の結果をまとめ冊子(「自己評価ファイル」)化して保管。希望者は校内で閲覧可能。		
学校関係者評価の基本方針(実施方法・体制) 学校関係者評価委員会を組織し、学校関係者評価委員会は年1回以上開催する。教育課程、進路指導などについて、学校関係者による評価を行う(2019年度から実施し、2020年度から公表)。委員は、医療関係者・保護者・卒業生から各1名以上選出し委員会を構成する。評価結果は適宜校長以下校運営管理者に通知され、可能な限り速やかに改善方策を校運営に反映させる。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
臨地実習受入病院 看護部	1年間	医療関係者(看護部長)
臨地実習受入病院 看護部	1年間	卒業生(看護師)
P T A	1年間	保護者
学校関係者評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 学校関係者評価の結果をまとめ冊子(「学校関係者評価ファイル」)化して保管。希望者は校内で閲覧可能。		
第三者による学校評価 (任意記載事項)		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.kango-oyama.jp/information
--

(別紙)

※この別紙は、更新確認申請の場合に提出すること。

※以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「-」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校コード	H109310000523
学校名	国際ティビィシィ小山看護専門学校
設置者名	学校法人ティビィシィ学院 理事長 齋藤 武士

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者（家計急変による者を除く）		19人	19人	20人
内 訳	第Ⅰ区分	12人	11人	
	第Ⅱ区分	-人	-人	
	第Ⅲ区分	-人	-人	
家計急変による支援対象者（年間）				0人
合計（年間）				20人
(備考)				

※本表において、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第1号、第2号、第3号に掲げる区分をいう。

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等		
	年間	前半期	後半期
短期大学（修業年限が2年のもの に限り、認定専攻科を含む。）、高等 専門学校（認定専攻科を含む。）及 び専門学校（修業年限が2年以下の ものに限る。）			
修業年限で卒業又は修了 できないことが確定	0人	0人	0人
修得単位数が標準単位数 の5割以下 (単位制によらない専門学校に あつては、履修科目の単位時間 数が標準時間数の5割以下)	0人	0人	0人
出席率が5割以下その他 学修意欲が著しく低い状況	0人	0人	0人
「警告」の区分に 連続して該当	0人	0人	0人
計	0人	0人	0人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であつて、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遡つて認定の効力を失った者の数

右以外の大学等		短期大学（修業年限が2年のもの に限り、認定専攻科を含む。）、高等 専門学校（認定専攻科を含む。）及び専 門学校（修業年限が2年以下のもの に限る。）			
年間	0人	前半期	0人	後半期	0人

(3) 退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）
の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	0人
3月以上の停学	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

停学（3月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のもの に限り、認定専攻科を含む。）、 高等専門学校（認定専攻科を含 む。）及び専門学校（修業年限が 2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が標準単位数 の6割以下 (単位制によらない専門学校に あつては、履修科目の単位時間 数が標準時間数の6割以下)	0人	0人	0人
GPA等が下位4分の1	0人	0人	0人
出席率が8割以下その他 学修意欲が低い状況	0人	0人	0人
計	0人	0人	0人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。